

白井規矩郎の表情体操と「桃太郎」

村山茂代

I. 研究の目的と方法

明治34年4月に開校した日本女子大学校（現日本女子大学）の体操教師、白井規矩郎（1870－1951）は『新式女子表情體操』第一集（育成會 明治34年12月）及び第二集（育成會 明治36年10月）を著し、フランス人デルサート（François Delsarte 1811－1871）の影響を受けた女子用の体操を創案して表情体操と呼び女子生徒に教えた。一方、幼稚園児や小学校児童を対象とする遊戯の研究も表情遊戯を考え遊戯書を著した。「桃太郎」は当時の代表的な表情遊戯であった。

本研究では、白井の研究と実践が尋常小学校の遊戯にどのような進展をもたらしたかを「桃太郎」の遊戯を通して明らかにする。

研究の方法は、明治30年代から大正初期までに刊行された遊戯書の遊戯と、『新式女子表情體操』との関連性を検討し、また体操遊戯取調報告（明治38年11月30日）及び学校体操教授要目（大正2年1月28日）などの学校制度とも対照する。

II. 研究の結果

① 白井規矩郎の表情体操

『新式女子表情體操』第一集ではデルサートの理論、デルサート式体操及び白井が創案した表情体操「流水の曲」を紹介している。

「吾人の動作は總て或る意味を抱有せるものにして一舉手一投足と雖無意味の舉動あることなし」というデルサートの考えから、白井は「其動作を音楽に伴ひ或る歌詞の意義を四肢體軀の動作に依て表情する方法を採れり。」と伴奏音楽の歌詞を体操の動作で表わす方法で「流水の曲」を創案した。

『新式女子表情體操』第二集ではデルサートの伝記及び白井が創案した二題の表情体操の方法を紹介している。これらの体操も「流水の曲」と同様に扇をもって行う体操で、伴奏音楽の歌詞を体操の動きで表わすように創られている。

表情体操の指導にあたっては、初めに歌詞の意味を理解させておき、次に体操の指導に入り「運動中は運動者決して歌唱すべからず。」と述べている。

② 「桃太郎」

「桃太郎」の唱歌と遊戯を最初に紹介したのは高井徳造他の『唱歌適用新編表情遊戯』（耕文社 明治35年2月）であろう。それ以降から大正2年までに刊行された遊戯書の中で、合計13冊が「桃太郎」の遊戯を述べている。

この13冊の文献のうち、山田春耕による『幼稚園唱歌遊戯法』（共益社 明治35年7月）では「表

出体操の元祖佛國のデルサート氏の主意に倣ひ」とデルサートの影響を認めている。

また中川濟は『兒童表情遊戯』（三育舎 明治36年8月）に「表情遊戯とは一言にして云へば、唱歌を歌ひつゝ動作をなす遊戯なり。従來我國に行はれ居る唱歌遊戯とは異なりたる點は少し、要は、唱ひ居る唱歌に歌情を、兒童自然の手足の動作に依つて表はすを主要なる點となせるのみ。」と述べている。中川がいう「従來我國に行はれ居る唱歌遊戯」とは、明治20年代の遊戯書にみられるように、伊沢修二が創案した遊戯や、女子師範学校付属幼稚園で実践した翻訳遊戯に代表される。これらの遊戯は、子どもたち個々の動作より全員が連手してつくる円や列などの形状に主点が置かれている。これらの遊戯の原点はフレーベル（Friedrich Fröbel 1782－1852）の運動遊戯であつて、フレーベルは子どもたちが全体の一員としての個人や統一的な全体を感じるために、すべて円環的な運動の遊戯を考えたからである。しかし『兒童表情遊戯』の遊戯は、子どもたち個々の動作による表現が主で、全員が連手して円を回るような運動は皆無である。

「桃太郎」の唱歌は5種類あり、又「桃太郎」という題名の遊戯は7種類あることがわかった。「桃太郎」の遊戯は、指で桃の形状をつくったり、両手で団子を作るようなパントマイム風の動きで歌詞を表わしている。

「桃太郎」の遊戯の指導については白井と同様に、まず唱歌の指導をしてから動作の指導に入ることを指示している。

「表情」という主旨で創案された「桃太郎」は体操遊戯取調報告では動作遊戯として、また学校体操教授要目では発表的動作を主とする遊戯の例として採用されている。表情体操や表情遊戯に対して批判の声もあつたが、明治40年に小学校令が改正となり、それによって尋常小学校1・2学年の体操科は唱歌と体操を分離せず毎週4時間が当てられ、両方の目的をはたそうとしたので、唱歌と動作を一体化しようという主旨でつくられた表情遊戯は適した教材であつた。

III. まとめ

白井が外国の文献からデルサート理論を学び、表情体操を創案し実践したことは、遊戯研究者達を刺激した。明治35年頃から遊戯研究者達は「表情する」ことを主旨として唱歌に動作を振りつけ、幼稚園児及び小学校低学年児童を対象とする表情遊戯を創った。体操遊戯取調報告や学校体操教授要目に見られる「桃太郎」は当時の代表的な表情遊戯であつた。

表情遊戯は尋常小学校1・2学年の教材として、体操と唱歌の両方の目的をはたすのに適していた。